

おかざき 議会だより

令和元年11月1日発行

vol.
199
2019

9月
定例会



おかざき未来“夢”プロジェクト「産業とまちづくり」ラウンドテーブル
(愛知産業大学)



- P02 一般質問
- P08 主な議案
- P09 委員会審査
- P10 平成30年度決算審査
- P12 討論
- P13 審議結果
- P14 おかざき未来“夢”プロジェクト、傍聴案内
- P15 積極的な情報発信で岡崎市議会をもっと身近に、12月定例会予定
- P16 辞職勧告決議、健康基本条例 他

(P14に表紙写真の関連記事あり)

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



一般質問

9月定例会では、21人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目の概要について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議事録及び議会映像で御覧いただけます。

一般質問の掲載原稿は、議事録に基づき質問議員が作成しています。

小木曾 智洋 (自明清風会)

・道路の管理

美合駅周辺整備

野々山 雄一郎 (自明清風会)

・本市の北部地域

・水道事業

・病院事業

畑尻 宣長 (公明党)

・シエアリングエコノミー

・成年後見支援センター

・がん対策基本法の取り組み

荻野 秀範 (自明清風会)

・中山間地域の振興

・林業の振興

磯部 亮次 (自明清風会)

・乙川リバーフロント地区整備事業と

・QRUWA戦略

・空き家対策の進捗と管理不全住宅

・モンゴル国への訪問

小田 高之 (チャレンジ岡崎・無所属の会)

・子育て支援

・外国人との共生を目指すこと

・新規就農

野本 篤 (自明清風会)

・本市南部のまちづくり

・選ばれる市営住宅

・不登校の児童生徒

・小学校高学年の教科担任制度

蜂須賀 喜久好 (創政会)

・岡崎警察署

鈴木 雅子 (無所属・日本共産党岡崎市議員)

・本市の総合事業(介護保険)

・市民のための福祉の拠点

・QRUWAプロジェクト

・市民対話集会

新免 悠香 (無所属・日本共産党岡崎市議員)

・高齢者が安心して暮らせるための支援

・遺跡発掘に対する本市の考え方

・予防接種の助成

野島 さつき (公明党)

・児童育成センター

・ひきこもり対策

加藤 義幸 (自明清風会)

・観光

・渋滞対策

原田 範次 (創政会)

・ひきこもり

・道路建設

・学校のプール

内田 実 (自明清風会)

・生涯学習

・教育行政

・アウトレットを核とした東部地域のまちづくり

杉浦 久直 (自明清風会)

・水循環

(仮称) 社会福祉会館

・おかざきっ子 育ちプラン

柴田 敏光 (民政クラブ)

・本市の公園

・防災

加藤 嘉哉 (民政クラブ)

・SDGs

・AED

市職員の働き方改革

畔柳 敏彦 (公明党)

・高齢者支援

・産業人材育成のためのリカレント教育

・杉山 智騎 (チャレンジ岡崎・無所属の会)

・不登校

・生徒市議会

鈴木 静男 (自明清風会)

・岡崎東インターチェンジ周辺のまちづくり

・消防団

山崎 憲伸 (自明清風会)

・市民センター講座のリスク対策

・学校運営



美合駅周辺整備
〜現状と課題
小木曾 智洋 (自明清風会)

問 荻川南地区画整理や日清紡跡地での住宅開発と、名鉄美合駅南側の開発が進んでいる。美合駅周辺の現状と、今後の課題は。

答 美合駅周辺は今後ますます発展する地域であると共に、周辺の交通量がふえ、混雑度が高まる地域と考える。将来的には美合駅周辺の都市機能を充実させ、美合駅利用者の利便性を高める必要があり、駅南口の必要性も高いものと考えている。美合駅周辺の問題は、既に住宅地が集積した中で駅が窮屈なこと、道路アクセスが悪いこと、駅前広場がないこと、駅南口がないことである。駅周辺整備に向けての大きな課題としては、駅周辺に市有地等整備可能な公共用地がないことである。また、鉄道事業者との調整の他、地域住民の合意形成が必要となるため、実際の整備着手にはかなりの時間を要するものと考えている。



(1) 水道事業
(2) 病院事業
野々山 雄一郎 (自民清風会)

問 (1) 水道事業におけるコンセッション方式導入の考えは。

答 良質で安全な水の供給のために、経営基盤強化と経営効率化を図るとともに、直営体制を堅持していくことが最優先されるべきと考えている。3月の答弁同様、コンセッション方式導入は現時点では考えていない。

問 (2) 市民病院が「選ばれる病院」になるためにも高度医療機器の導入が必要である。年度内のPET-CT導入を目指しているとのことだが、手術支援ロボット、ダビンチの導入の考えは。

答 手術支援ロボットを導入するには、経験を有する医師の配置、高額な費用、病院内での滅菌体制の充実などの課題がある。患者のために低侵襲な手術が行えること、「選ばれる病院」として先端技術を持つ医師の確保にとって有利であることから、前向きに導入を検討していきたい。



シエアサイクル事業の今後
畑尻 宣長 (公明党)

問 本市の観光拠点点を点から線に結びつける役割を担うサイクルシェア事業は、引き続き行っていくことが重要である。民間移譲ができなかった場合は、市が主体となり事業を継続する可能性はあるのか。

答 サイクルシェア事業は3年間の社会実験であり、シェアリングエコノミーの考え方を浸透させることを目的の一つとして、事業の可能性を検証するためにやってきた。そのため、採算が合わない等の理由で民間移譲ができなかった場合は、事業を終了することも選択肢の一つである。しかし、シェアリングエコノミーの考え方が広がりつつある中で、サイクルシェア単体での事業性が低い場合でも、他の事業とのバンドリング等により、様々な観点から民間移譲に向けた可能性を探り、事業の継続に努めたいと考えている。



白地農地の有効利用
萩野 秀範 (自民清風会)

問 白地農地を、土砂災害特別警戒区域への指定により規制のかかる宅地の移転先として、農地転用許可をする特例はあるか。

答 土砂災害特別警戒区域の住宅を移転する際の、農地転用の特別措置はない。農地転用は個別案件の状況により判断するため、農業委員会事務局へ気軽に相談してほしい。

問 空き家に付随する農地も同時に所有権移転ができるように、下限面積を緩和できないか。

答 現時点では下限面積の緩和措置はないが、国が農地つき空き家の手引きを作成し、別段の面積を設定できるとしている。県内では3市町の事例があることから、農地つき空き家に限らず、その他の方法も含め、他の自治体の事例などについて調査研究し、活用できる運用方法があれば、今後検討していく。



空き家等対策の進捗と管理不全住宅
磯部 亮次 (自民清風会)

問 昨年9月定例会の一般質問での議論において、特定空き家と認定するのに時間がかかり過ぎるため、近隣住民の安全に對して、特措法に上乘せ条例を検討し、近隣住民の緊急安全措置を講じることを検討されたいとしたが、どのような条例を検討したのか。

答 現在検討している条例において、本市が最低限の緊急安全措置を行えるように規定する。現在の特別措置法を補完して、市民の快適な生活環境の保全を図る措置を講じていく。今後のスケジュールについては、現在作成している条文案に対して、11月にパブリックコメントを実施し、条例案をまとめ、令和2年3月定例会へ上程したいと考えている。この条例で、例えば、看板や屋根材等の落下のおそれがあり、道路通行者や近隣住民へ危害を及ぼす危険性が著しく高い場合は、部材の除去などができるようにする。



公共交通における
第3子の幼児無償化を
小田 高之(チャレンジ岡崎・無所属の会)

問 公共交通において、幼児を3人連れて行くと運賃が必要となる。幼児3人目の運賃も無償化をするべきだと思いが、見解は。

答 愛知環状鉄道では、3人目を無料にする考えはないと聞いている。また、JR東海、名古屋鉄道においても同様の基準となっており、本市としては、3人目の無償化について要望することは今のところ難しいと考えている。

問 第3子支援は、本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略にも記載されている。無償化にしてもそれほど予算がかかると思わないが、見解は。

答 対象者がかなり限定されると推測されるが、子育て支援施策の検討に当たっては、より事業効果や費用対効果が高い施策を選択したいと考えており、現在のところ提案の制度の創設については考えていない。



不登校の児童生徒
野本 篤(自民清風会)

問 子供の自己肯定感の低さは、家庭環境もその要因の一つと考えるが、教育委員会の見解及び学校教育における対応は。

答 子供の不登校には、様々な要因が複雑かつ複合的に関係している場合が多いと考えている。従って、一人一人の状況や背景を把握、分析し、その子に合った支援・指導をしていくことを大切にしている。

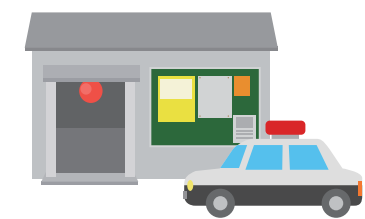
「子供の自己肯定感の低さ」についても大切な視点の一つと考え、学校現場では、子供たちの自己肯定感を高めるよう努力している。その結果、全国学力・学習状況調査において、平成25年度以降、本市の児童生徒の自己肯定感を持つ割合が増加傾向となっている。今後子供たちが活躍し、十分な成就感の得られる学習指導や特別活動、学校行事などの教育活動を積み重ね、自己肯定感を育む教育を進めていきたい。



北部地区への基幹的
交番の設置の考え方
蜂須賀 喜久好(創政会)

問 北部の岩津地域は、もともとと岩津町警察という本署機能があつた地域である。北部へパトカーの機動力を生かせる基幹的な交番を設置する必要があると考えるが、本市の考えは。

答 犯罪の抑止や早期解決のためには、より多くの警察官が配置される交番の設置はもとより、パトカーが常時待機し、日常的に地域を巡回、そして速やかに事件、事故現場に到着できる、そうした機動力の強化が望ましいと考えている。このため、岡崎署が南部に移転し警察署が遠くなる北部地域について、地域の安全を守り地域住民の安心感を得るよりどころとして、パトカーなど機動力を強化した交番の設置について、警察に対して要望していきたい。



コンベンション施設の
利用計画
鈴木 雅子(無所属・日本共産党岡崎市議員)

問 1000人規模のホールと300人規模の会議室を整備する計画だが、利用料をどの程度と想定しているか。建築費用に対して採算が合う稼働率は。

答 市税を50数億円投入するが、建設をしてあげるコンベンションホールは近隣にはない。経済界の要求ならば、経済界にも負担を求めべきではないか。

建設予定地はもともと本市で唯一の児童館があつたところ。会議室や児童館、老人センターなど市民が使える施設と複合化しないか。

答 利用料の単価は、上限を1時間平方メートル当たり50円と考える。利用料を、できる限り低廉な価格にし、稼働率は6割程度を達成したい。採算性の高い事業は民間事業者にも、採算がとれないところは公共事業として区分した。経済界には利用を期待したい。今回の事業では、投資する上で経済活動を主眼に置いて取り進めたい。



期日前投票所の運営
新免 悠香 (無所属、日本共産党高崎市議員)

問 7月の参議院選挙で期日前投票をした人から「投票用紙を2枚同時に渡されて混乱した」という意見を聞いた。法令に記載はないが、誤投票を防ぐには別々の交付が望ましいと県の選挙管理委員会も言っているが、今後どうしていくか。

答 期日前投票所9カ所のうち、七つの支所で選挙区と比例代表の投票用紙を2枚同時に交付している。今回、選挙人からの「案内がわかりにくい」という意見を受けて、口頭での案内に加え、投票所の入り口に同時交付をする旨の案内表示や投票箱に投票用紙の色の違いを表示する対応を行った。今後は、選挙人の混乱や誤りを防ぐため、投票所内の配置等を工夫することで、別々に交付できないうか、改めて検討していきたい。



児童育成センターの安定的な運営
野島 さつき (公明党)

問 本年3月の委員会で民間委託の考えを聞いたが、その後、どのように検討したか。

答 今年度プロポーザル方式により委託業者を選定し、次年度から民間委託を実施する予定である。専門業者のネットワークにより、慢性的な支援員等の人員不足の解消と更なる整備に伴う支援員等の人材確保を図る。また、研修等の充実により支援員等の質の向上を図り、児童へのきめ細やかな育成支援を行うなど、民間委託化により児童育成センターの安定運営と魅力ある育成支援を目指す。

問 児童育成センターの整備場所は、児童の安全面からも学校内が最適と考えるが、見解は。

答 児童が校外に移動することなく安全に利用することができるといふ大きなメリットがあるとの考えから、実現に向け教育委員会及び学校と連携し、協議を進めたいと考えている。



福岡学区 玉川橋交差点の渋滞解消策
加藤 義幸 (自民清風会)

問 市道上地福岡線と県道岡崎碧南線との交差点について、市道を西方向に進んでいる車両が右折しようとしているときに、時間帯によってかなり渋滞が発生している。渋滞解消策として、右折帯の設置、信号機の点灯時間の調整等は可能か。

答 今回行っている工事で右折車線相当の幅員として1・5倍以上の膨らみを持たせる予定で、現在より渋滞は緩和されると考える。信号機については、供用開始後であっても、周辺環境の変化などにより生じた渋滞の緩和に對し地元要望等があった場合は、警察からは道路管理業者等と協議、立会いを行った上、改善の必要があれば検討可能であると聞いています。



右折車両により渋滞が発生する玉川橋交差点

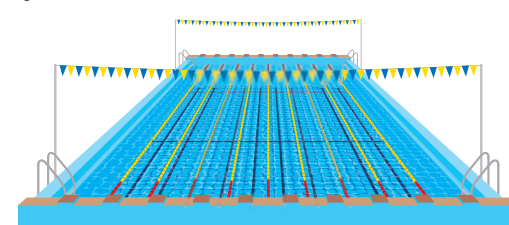


学校プール
原田 範次 (創政会)

問 国が定める水泳指導の手引に、望ましい水温は23度以上上とあるが、現状は水温35度以上になると一部使用を中止している。今後は、高水温になる屋外の学校プールを集約して、生徒と市民が使える屋内プールを支所単位で建設してどうかと考えるが、今後の学校プールのあり方を尋ねる。

答 子供たちに水泳運動の楽しさを感じとらせたり技能を身につけさせたりするためのプール施設のあり方については、今後の検討課題と考えている。

他市で行われている民間プールの活用も含め、教育内容、指導方法、施設の管理、維持など、様々な観点から検討していきたいと考えている。





**教職員の
多様な働き方の実現**
内田 実（自民清風会）

問 プログラミング学習の推進と両輪となる、次世代型教育 ネットワークシステムの概要と学校現場での効果は。

答 ソサエティ5・0の到来を見据え、①仮想化技術を用いたネットワーク分離によって重要情報を確実に保護、②クラウドを利用した情報共有による共同的な業務や研修の充実、③高速エコプリンターの採用により大幅なコストダウンと業務時間の削減、④職場外アクセス機能の採用で職場外でも職員室と同じパソコン環境を安全に確保の4点を基軸に構築していく。職場外の個人パソコンから職場のパソコンへ接続できる仕組みにより、職場にいるのと同様にリモート操作で業務を行えるため、働き方の幅が広がり、セキュリティ上、職場外でも安全に利用できることで、よりよいワーク・ライフ・バランスに貢献し、教職員の多様な働き方を実現していく。



**本市の福祉の発展につながる
新たな拠点**
杉浦 久直（自民清風会）

問 社会福祉協議会、シルバークラスセンターの移転先となる勤労文化センターの改修計画について、ボランティア団体、障がい者団体から出された意見の内容及、それらを踏まえた今後の本市の対応は。

答 施設の改修計画では、新たな防犯灯の設置や車椅子用駐車区画の確保、視覚障がい者向け録音室の設置、ボランティア情報展示スペースの確保、出入口のスライドドア化、災害などを知らせるパトライトの設置など、出された意見を踏まえ、可能な範囲で改修工事に反映させ、その結果も各団体へ伝えたい。施設の利用内容についても、各団体、利用者から意見を聞くことで参画してもらい、決定していきたい。（仮称）社会福祉会館が、利用しやすく各団体の活動や本市の福祉の発展につながる施設となるよう、しっかりと利用者の意見を反映したい。



雨水対策
柴田 敏光（民政クラブ）

問 大平町新寺地域の雨水対策として進めている大平北雨水幹線の進捗状況は。

答 六名雨水ポンプ場や八帖雨水ポンプ場の整備を並行して進めていることから、浸水対策全体の事業バランスなどを考慮し、大平北雨水幹線についてもできるだけ早期に完成させることで、事業効果が発揮できるよう整備を進めていく。

問 中央総合公園周辺の調整池（※）6カ所の管理について、本市の考えは。

答 調整池の一つは満水状態で、雨が降ると下流へそのまま流れ込む状態だったが、現在は水位を下げて調整池の機能を果たしている。調整池へ行く通路の樹木の伐採は必要であり、また当該調整池は森林法の基準に基づき設置しているものであり、適切に管理すべきと考えている。

※降雨による出水により下流の水路の流下能力を超過する可能性のある雨水を水路に入る前に一時的にためる池



**市職員の働きやすい
職場環境**
加藤 嘉哉（民政クラブ）

問 働きやすい職場環境については、その取り組みこそが今後の人材確保、人材育成につながるのかと考える。本市における働きやすい職場環境とはどのようなものであるか。また、今後のビジョンは。

答 働きやすい職場環境とは、全ての職員が健康で生き生きと働き、成長し、その能力を最大限発揮できる環境であると考えている。本市では平成17年度から岡崎市特定事業主行動計画を着実に実施することで、ワーク・ライフ・バランスの推進など職場環境作りを進めてきた。これまでの成果・課題を検証し、単に職員が働きやすいというだけでなく、職員が働きがいを持てる、また、自分の存在意義が実感できる、そんな職場環境の創出に努めていきたいと考えている。



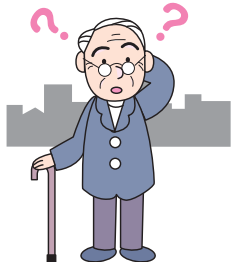


認知症高齢者の事故に、賠償責任保険導入を
柳 敏彦 (公明党)

問 認知症施策として、会派としても認知症の人が徘徊中に事故に遭遇した際の個人賠償責任保険の導入を提案してきた。昨年の回答では、悲惨な事故に遭った上に、損害賠償を請求される遺族に対する支援策も必要と考えているとのことであった。現在の検討状況は。

答 他市の状況も踏まえ、来年度から導入を検討しており、対象者は認知症高齢者見守りネットワーク事業の事前登録者を予定している。

事前登録者とは、認知症の人が一人で外出して、そのまま道に迷って家に戻れなくなってしまう、行方不明になる可能性のある人である。この個人賠償責任保険の導入は、事前登録者をふやす狙いもある。



子供食堂支援の進捗状況と今後
杉山 智騎 (チャレンジ岡崎、無所属の会)

問 子供食堂への支援の進捗状況と今後の取り組みは。

答 農家、スーパーなどの余剰食品の活用について、本年初旬に行った市内のスーパー等へのアンケート調査において、子供食堂への食材提供に前向きな事業者があったので、直接訪問し、趣旨説明や協力要請を行った。実際に子供食堂への食材の提供につなげられるよう、必要としている食材や具体的な提供方法を提案するなど、現在も事業者と協議を継続しており、今後も新たなルート開拓に向け、調査等を継続していきたいと考えている。また、市内の子供食堂運営団体の間で、独自のネットワーク構築を目指す新たな連携組織の発足に向けた動きがあると聞いている。運営団体との関わりの中で情報収集を行い、市民への周知や、活動に協力してくれる団体や個人の募集等に関する協力を検討していきたいと考えている。



岡崎東一C周辺まちづくり 今後の展開
鈴木 静男 (自民清風会)

問 土地利用基本計画と都市計画マスタープラン改定への、今後の展開は。

答 土地利用基本計画は、庁内の意見照会を経て11月頃にパブリックコメントを実施し、来年1月開催予定の都市計画審議会への諮問を予定している。

都市計画マスタープランについては、全体構想や地域別構想など原案を作成し、今年度中に地域住民を対象とした説明会を実施する予定で、まず全体構想に関する説明会を10月26日から11月3日にかけて市内八つの会場で開催し、その後、地域別構想の説明会も来年1月頃から同様に八つの会場で開催する予定である。



岡崎東一C周辺



教育・医療連携による不登校児対応
山崎 憲伸 (自民清風会)

問 発達障がいの子供たちのために、これから行うべき教育と医療の連携は何か。

答 教育に関して、この3年間で、特別支援学級の数や小学校で30学級程度増加し、100名程度の増加となった。こうした現状を踏まえ、発達特性を持つ子供の理解を全教職員が深めていかなければならないと考えている。そのためにも、今まで以上に発達障がいに関する専門医を招くなどして研修を深めたい。

医療に関しては、新たな試みとして、本市子ども発達相談センターにベテラン教員を配置し、発達医療センターで取得した医療的観点からの指導内容を教育現場に直接届ける取り組みを開始した。これは、発達センターの医療と相談部門が緊密な連携をとっているために実施可能なことであり、今後の医教連携モデルとなる仕組みの一つと考えている。

主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、13ページに掲載しています。

条例議案

■**防犯対策基金条例の制定**／市民が安全で安心して生活することができる地域社会の実現に資する防犯対策に要する事業費に充てるため、防犯対策基金を設置する。

■**印鑑登録条例の一部改正**／住民基本台帳法施行令の一部改正により、氏の変更があった人が住民票に旧氏の記載を求めることが可能になったことに伴い、住民票に記載された旧氏による印鑑登録を可能にする。

■**文化財保存活用地域計画協議会条例の制定**／文化財保存活用地域計画の作成等に関する協議及び連絡調整を行うための協議会を設置する。

その他議案

■**工事請負の契約の変更**／（仮称）乙川人道橋橋りょう上部工事の契約を変更する。

■**土地改良事業に伴う町及び字の区域の変更**／県営経営体育成基盤整備事業東牧内地区に係る土地改良事業により町界及び字界を変更する。

■**工事請負の契約（仮称）市営五本松住宅新築工事（A工区）外3件**／（仮称）市営五本松住宅新築工事（A工区）、（仮称）市営五本松住宅新築工事（B工区）、（仮称）市営五本松住宅新築工事（C工区）、（仮称）市営



（仮称）市営五本松住宅イメージ図

五本松住宅新築工事（D工区）の契約を行う。

補正予算議案

■**一般会計補正予算（第2号）**

○**民生費**／福祉基金積立金、高年者センター施設整備工事請負費など約1億4238万円の増

○**衛生費**／ごみ受入・処理委託料（リサイクルプラザ）など約1559万円の増

○**農林業費**／経営体育成支援事業費補助金、家畜伝染病対策本部関連事業費など約2810万円の増

○**土木費**／土地購入費（福岡線）、岡崎駅南土地区画整理組合事業費補助金、道路築造工事請負費（岡崎駅東地区整備事業）、木造住宅耐震診断委託料、住宅除却費補助金など約1394万円の増

○**教育費**／埋蔵文化財調査等委託料、国際スポーツ大会等推進委員会負担金、施設購入費（龍北総合運動場整備事業）など約4億6304万円の増

■**後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**／保険料等負担金など約561万円の増

■**介護保険特別会計補正予算（第2号）**／介護給付費準備基金積立金、介護給付費国庫負担金返還金、地域支援事業費国庫補助金返還金など約6億342万円の増

令和元年度9月補正予算

（単位：万円）

	補正前	補正額	補正後
一般会計	13,057,457	64,538	13,121,995
特別会計	6,866,764	60,903	6,927,667
企業会計	6,079,695	0	6,079,695
合計	26,003,916	125,441	26,129,357

委員会審査

4常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

一般会計補正予算（第2号）

総務費

問 個人番号カード利用環境整備業務の概要は。

答 消費税率の引き上げに対して国が行う消費活性化策の一つで、令和2年度に実施予定の、マイナンバーカードを活用した消費活性化策への参加に必要なマイキーIDの設定支援等を行う。設定に使用する専用のパソコン等の設置や、マイキーIDを設定する市民を支援する派遣職員の配置を予定しているが、この消費活性化策は国において現在も詳細を検討中で流動的であるため、国からの通知等に注視し対応していく。

福祉病院委員会

児童厚生施設条例の一部改正

問 井田町にある山王児童遊園を廃止する理由と、廃止後の管理及び用途は。

答 山王児童遊園は住宅街にあり、3方向を住宅に囲まれ、周辺道路の道幅が約2.5mと狭く、敷地内に高低差があり、植栽が生い茂っているため見通しと風通しが悪い環境である。また、周辺には井田公園、城山公園、伊賀北こども広場、柿田川緑道が設置されていることもあり、ほとんど利用されていない状況であることから、防火防犯上の問題があり、地元町内会から廃止を求める旨の申出があったため、廃止をする。廃止後の管理は市有地として安全面、防災面に配慮して、隣地へ影響がないように適切に管理をし、今後の用途については、行政での活用がなければ売却や貸付けを検討する。



文教生活委員会

一般会計補正予算（第2号） 債務負担行為

問 新学校給食センターの供用開始時期はいつ頃を目指すのか。また、どの程度の規模のものを想定し、管轄校の見直しもするのか。

答 順調に進めば5年度中の竣工、供用開始となるが、目標に向けて関係者と鋭意協議を進めていく。また、現在の西部学校給食センターは、矢作地区を中心に小学校8校、中学校2校、こども園3園に配送しているが、新学校給食センターの管轄校については、見直しを含めて検討する。なお、新学校給食センターの規模については、最新の学校給食衛生管理基準や配達時間を考慮した管轄校の見直しをする必要があり、今後基本計画で策定していくが、現段階では現西部学校給食センターとほぼ同じ調理能力である9千食を想定している。

経済建設委員会

工事請負の契約（仮称）市営五本松住宅新築工事

問 （仮称）市営五本松住宅の特徵、4工区の工事を同時に進めるメリット及び今後のスケジュールは。

答 特徴は、水害リスクを回避するため現状よりも宅盤をかさ上げしていることと、放課後児童クラブを併設することである。また、4工区の工事を同時に進めるメリットは、周辺の生活環境に影響を与える期間を短くすることができ、年度をずらして順に建築した場合、先行して入居した人にとって工事の騒音や振動が日常生活に影響してしまうため、それらを回避できることである。住宅棟は本年10月初旬に本契約を締結し、2年12月末に完成、その後、外構工事などを行い2年度内で整備が完了する予定であり、3年4月より順次入居を行っていくことを考えている。

平成30年度決算審査

決算特別委員会を設置し、30年度決算議案に対する質疑を行いました。詳しい内容や他の質疑については市議会HPで公開している議事録で御覧いただけます。

総括質疑

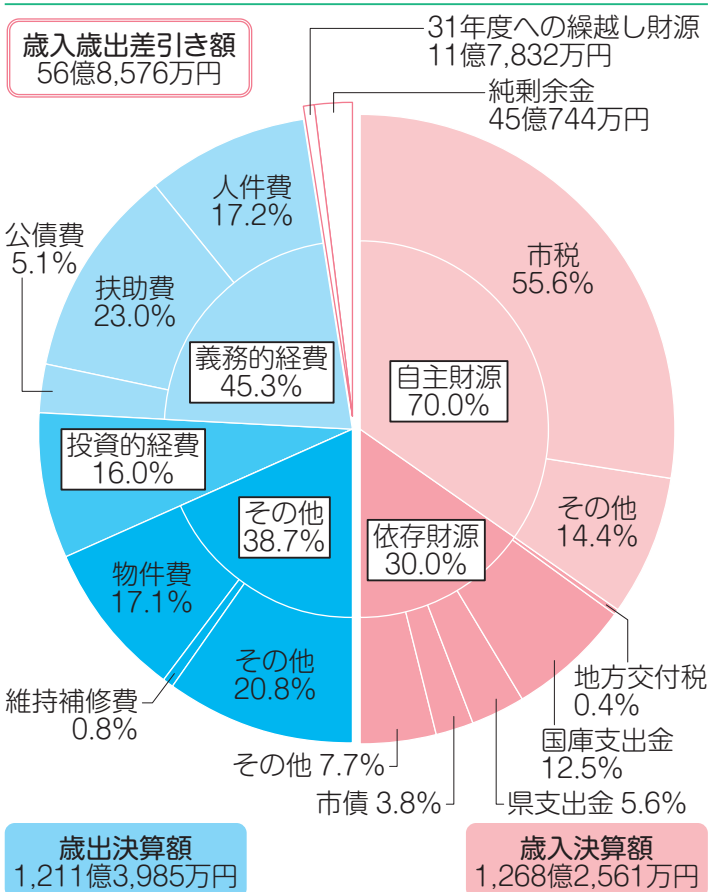
問 30年度は「夢ある新しい岡崎の実現に向け、着実に施策を進める予算」と位置づけ予算編成をしたが、第6次総合計画の七つのまちづくり基本政策の決算額と主な事業は。

答 「地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり」は約35億5800万円で、主な事業は豊富学区市民ホームの機能を旧ぬかた会館に移転するための施設改修、道路照明のLED化、「健やかに安心して暮らせるまちづくり」は約968億2600万円で、主な事業は令和2年4月開院予定の藤田医科大学岡崎医療センターの整備支援、友愛の家の整備及び運営、「自然と調和した環境にやさしいまちづくり」は約27億5700万円で、主な事業は北山湿地の保全

管理等のための木道整備、生活環境の美化の推進に関する条例の制定に伴う周知、啓発活動の実施、「賑わいと活力あるまちづくり」は約31億4600万円で、主な事業は阿知和地区工業団地造成事業の調査、本市ならではの魅力的な観光資源を活用した四季折々のイベントの実施、「快適で魅力あるまちづくり」は約222億5400万円で、主な事業は東岡崎駅周辺及び乙川リバーフロント地区の整備、「未来を拓く人を育むまちづくり」は約95億5千万円で外国語指導助手及び小学校英語指導補助者の増員、タブレット型情報端末の小学校への新規配備、「将来まで自律した状態が続く都市経営」は約42億5400万円で、主な事業はコンベンション施設整備事業における事業手法の検討及び基本計画の作成である。



一般会計



企業会計

単位：万円

	収入決算額	支出決算額
病院事業	227億2,408	240億4,300
収益的	217億3,122	219億8,001
資本的	9億9,286	20億6,299
水道事業	96億8,124	110億4,681
収益的	78億4,967	63億3,187
資本的	18億3,157	47億1,494
下水道事業	155億4,792	179億3,311
収益的	91億1,607	83億1,313
資本的	64億3,185	96億1,998
合計	479億5,324	530億2,292

※数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、差引きが一致しない場合があります。

総務企画分科会

総務費

問 シティプロモーション推進支援委託料の内容及び成果は。

答 主にシティプロモーションのHPリニューアル、本市に関する情報を発信するサポーターの発掘育成、市内の中高生を対象としたイベントを実施した。HPには岡崎ハート宣言と岡崎ハートマップのコーナーを新設し、岡崎ハート宣言は1000人以上の参加、岡崎ハートマップには550枚を超える画像の投稿があった。サポーターの発掘育成をするためのイベントとサポーター講座には、延べ354人の参加があった。また、中学生向けの未来の岡崎ハート展には8校43人の生徒の参加があり、2日間で合計約1400人の来場があった。シティプロモーション活動の成果は、様々な活動をしてきたことで多くの人が本市に対して関心を持ったことと考えている。

福祉病院分科会

民生費

問 保育園個別施設計画策定業務で得られた結果と今後の活用の方向性は。

答 保育園の老朽化対策の手法として、建てかえを行った場合と長寿命化の改修を行った場合の費用についてモデルケースによる試算を行い、RC造の園は改修で、鉄骨造の園は建てかえで対応することを全体の原則とした。建物の状況だけでなく施設の立地条件も考慮して老朽化対策を進める優先度を評価し、五つにグループ分けした。優先度が最も高いグループとして、福岡保育園、福岡南保育園、六ツ美南保育園、六ツ美西保育園、豊富保育園の5園を抽出した。検討結果を基に、今後の保育需要の推移や公立保育園の民間移管の可能性なども考慮しながら各園の整備計画の検討を進め、安心して保育を行える保育園の整備に努める。

文教生活分科会

教育費

問 スーパーサイエンススクール推進業務で、中学校の推進校が6校から全20校になったことの評価と見解は。

答 各学校では地元企業や自然科学研究機構に所属する専門知識を持った人との連携を図った実践が広く行われており、それにより理科の授業の充実、向上が図られ、多くの生徒が最先端の科学や日常に潜む科学に触れる機会となっている。こうした取り組みが市内全中学校の生徒に広がったことは大きな成果であると考えている。微生物について学ぶ単元で地元企業の出前授業を受けた例では、生徒たちは微生物の働きについて十分理解し、その成果が授業中の生徒の言葉に表れている。教師からも、発展的な学習を通して理科の学びが役立っている、科学の有用性を実感することができたなどの感想が上がっている。

経済建設分科会

商工費

問 リノベーションまちづくり推進事業など、様々な事業を行った中心市街地活性化推進業務の実績と成果は。

答 中心市街地の空き店舗対策を行う業務で、中心市街地における働き方を提案するシンポジウムや、空き店舗を回る物件ツアー、不動産や建築の専門家向けの勉強会、更には過去3年間に行ったスクール参加者の事業計画を支援するアフターフォロー事業などを実施した。事業の成果としては、30年度の2件を含め、27年度からの4年間で計16件の出店や創業につながるスタートアップを支援できたほか、現在も複数の出店準備の案件が進んでおり、中心市街地の空き店舗解消に貢献している。



本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

工事請負の契約（仮称）乙川人 道橋橋りょう上部工事

自明清風会

「アンカーボルトによる固定から接着剤による固定へと施工方法を変更するが、強度、耐久性、外観などに問題はなく、現場において常に最善の施工方法を見出し、柔軟に対処することは重要である。工事中の安全確保をし、早期完成をお願いする」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「木床版の固定金具を接着剤で固定することによる構造の単純化においても、固定金具に作用する引っ張り応力に対して十分な耐力を有しており、強度は確保されている。また、交通誘導警備員の配置人数の減少と交通規制期間を最

小限にする見直しは評価する」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎・無所属の会

「ボルトから変更するエポキシ樹脂系接着剤は土木・建築分野で幅広く利用されており、新潟県中越地震などの大震災にも耐えた実績がある。橋りょう本体を支える箇所への使用ではなく、安全性には影響がないと判断する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「使用する接着剤は接着力、機械的強度、耐水性、耐候性、耐油性、耐薬品性に優れ、50年以上前にこの接着剤で補修した橋は、現在でも問題なく供用されている実績もあり、適切な変更と理解する」と意見を述べ、賛成した。

創政会

「工事を進める中でも、品質を確保しつつ、少しでも安価な工法を模索することは大切である」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「人道橋の建設には一貫して反対してきた。同じ強度で価格が安くなるのは良いが、接着剤の技術進

歩があるとはいえ、保証がどれだけつくか不明である」と意見を述べ、反対した。

一般会計補正予算（第2号）

自明清風会

「新西部学校給食センター整備基本計画は、本市が目指す学校給食の方向性や給食施設の整備方針などの必要事項を定め、令和5年の竣工、供用開始を目指し進めるもので、1日でも早く、安全で安心な給食を配送するようお願いする」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「新西部学校給食センター建設候補地の取得過程で、粘り強く交渉したことは評価する。安全でおいしい学校給食の提供の理念を引継ぎつつ、最新の整備基準の下、配置計画、導入機能、規模、運営内容等を検討し、働きやすい環境の整備を望む」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎・無所属の会

「来庁した外国人市民を支援する通訳クラウドサービスの必要性を訴えてきたが、タブレット端末での通訳者、外国人市民、職員の3

者通話型の通訳システムを検討、実践したことに感謝する。これから、利用頻度、利用者の声を基に台数や導入窓口を検討するようお願いする」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「現在の西部学校給食センターは建設から40年経過し、施設等の老朽化が著しいため、新給食施設の整備方針、基本計画の策定、PFI導入可能性調査が実施される。供用開始への着実な推進と、予定地域の内水対策にも十分な配慮を要望する」と意見を述べ、賛成した。

創政会

「矢作地区の新給食センター建設用地の取得は、粘り強い交渉の結果、地元から一定の理解が得られた。今後地元と協力して、早期に整備することをお願いする」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「保険証をマイナンバーカードに載せるといふことだが、持ち歩く危険性を考えれば、行うべきでない」と意見を述べ、反対した。

(○賛成、×反対)

審議結果		9月定例会	採決結果	会派別賛否				
				自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡崎 無所属の会	公明党	創政会
件名								
市長提出議案								
認1	平成30年度一般・特別会計の決算の認定	認定	○	○	○	○	○	
認2	平成30年度病院事業会計の決算の認定		○	○	○	○	○	
認3	平成30年度水道事業会計の利益の処分及び決算の認定	可決・認定	○	○	○	○	○	
認4	平成30年度下水道事業会計の利益の処分及び決算の認定		○	○	○	○	○	
21	工事請負の契約の変更((仮称)乙川人道橋橋りょう上部工事)		○	○	○	○	○	
22	土地改良事業に伴う町及び字の区域の変更		○	○	○	○	○	
23	工事請負の契約((仮称)市営五本松住宅新築工事(A工区))		○	○	○	○	○	
24	工事請負の契約((仮称)市営五本松住宅新築工事(B工区))		○	○	○	○	○	
25	工事請負の契約((仮称)市営五本松住宅新築工事(C工区))		○	○	○	○	○	
26	工事請負の契約((仮称)市営五本松住宅新築工事(D工区))		○	○	○	○	○	
27	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定		○	○	○	○	○	
28	職員の給与に関する条例等の一部改正		○	○	○	○	○	
29	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	
30	防犯対策基金条例の制定		○	○	○	○	○	
31	印鑑登録条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	
32	児童厚生施設条例の一部改正		○	○	○	○	○	
33	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	
34	子ども・子育て支援法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定		○	○	○	○	○	
35	消防団条例の一部改正		○	○	○	○	○	
36	水道事業給水条例及び簡易水道施設の設置等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	
37	文化財保存活用地域計画協議会条例の制定		○	○	○	○	○	
38	令和元年度一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	
39	令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	
40	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	
41	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	
42	令和元年度継続契約集合支払特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	
同1	固定資産評価審査委員会の委員の選任		○	○	○	○	○	
同2	教育委員会の委員の任命	同意	○	○	○	○	○	
同3	公平委員会の委員の選任		○	○	○	○	○	
議員提出議案								
議3	三浦康宏議員に対する辞職勧告決議		○	○	○	○	○	
議4	健康基本条例の制定		○	○	○	○	○	
議5	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	
議6	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	
議7	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出		○	○	○	○	○	
議8	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出		○	○	○	○	○	
請願								
請4	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出	採択	○	○	○	○	○	
陳情								
陳11	私立高校生の保護者の授業料負担の公私格差を是正するために岡崎市授業料補助金制度の充実を求めること	意見を付して議長に報告することとした。						
陳12	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出							
陳13	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出							

おかざき未来“夢”プロジェクト 「産業とまちづくり」ラウンドテーブル

10月7日(月)に岡崎市議会・愛知産業大学の共催で、議員と学生が本市の産業とまちづくり施策に関する意見交換を行いました。

第1部

岡崎市議会から「本市の産業とまちづくり」について報告をしました。



第2部

愛知産業大学教授の伊藤庸一郎氏から「市民一人ひとりにいきわたるテーラーメイドなA1の未来」についての発表がありました。



第3部

愛知産業大学准教授の宇野勇治氏によるコーディネートの下、学生がグループリーダーとなって議員と活発な意見交換を行いました。



意見交換会の結果をまとめ、各グループで話し合った内容について、学生の皆さんが発表を行いました。

学生の皆さんからいただいた貴重な御意見やアンケート結果については、今後の市政に反映できるように、市議会として政策提案等につなげていきたいと考えています。



▶ 障がいのある方の傍聴について

障がいのある方にも傍聴しやすい環境を整えていますので、ぜひ御利用ください。

- 車椅子スペースの設置
- 手話通訳／要約筆記※
- ヒアリングループ（磁気誘導ループ）設置※
- 点字資料の提供※

※御利用に当たっては傍聴予定日の1週間前までに御予約ください。

▶ 本会議傍聴時の託児について

本会議傍聴時の託児サービスを実施しています。傍聴予定日2日前の16時までに御予約ください。

お問合せ先 議会事務局総務課 ☎23-6382 FAX23-6538



～積極的な情報発信で岡崎市議会をもっと身近に～

岡崎市議会では、これまでも開かれた議会を目指し、様々な議会改革に取り組んできました。今回は、最新の取り組みについて御紹介します。岡崎市議会が市民の皆さんにとって身近な市議会となるよう、これからも積極的な情報発信に努めていきます。


▶ 議場の傍聴席へモニターを設置

議場の傍聴席へモニターを設置したことで、議員が質問中に提示したパネル等が見やすくなり、質問内容をより理解しやすくなりました。



▶ 委員会の録画映像をYouTubeで配信

議案等の審査を行った常任委員会と特別委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。

岡崎市議会チャンネル  で検索！

▶ スマホで議会だより「マチイロ」

御利用のスマートフォンやタブレット端末にアプリを登録すれば、最新の議会だよりが配信されます。




<登録方法>

左のコードを読み取っていただくか、App Store、Google playから無料アプリ「マチイロ」をダウンロードしてください。

▶ 市議会キッズページを開設

子供向けに議会の仕組みをわかりやすく説明しています。

岡崎市議会キッズページ  で検索！



12月定例会予定

12月定例会の
 請願・陳情提出締切りは、

11月18日月

です。

月	火	水	木	金	土	日
12/2 開会、市長提案説明、議案説明(一般質問)	3 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6 議案質疑、委員会付託※	7	8
9	10	11	12 常任委員会	13 常任委員会	14	15
議案検討						
16	17	18 議会運営委員会	19	20 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	21	22

※質疑を行う議案等がない場合は、12月5日の一般質問終了後に委員会付託を行い、12月6日は休会日とします。
 ○一般質問の通告内容は、開会日までに市議会HPに掲載します。
 ○開会、一般質問、閉会の模様は、ケーブルテレビミックスで中継します。
 また、インターネットでは開会、一般質問、議案質疑、閉会の中継を行います。
 ○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、各常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定（常任委員会の開催順序等は11月20日に決定）です。

三浦康宏議員に対する辞職勧告決議

三浦康宏議員は、市議会議員という公職にありながら、平成25年から28年にかけて元同僚女性議員に対し不適切な行為、発言を繰り返した上、さらにその釈明のため当時岡崎市民及び岡崎市議会に対して事実と異なる説明を行ってきた。

このことは、市民全体の奉仕者として公正かつ清廉を基本姿勢とし、高い政治倫理意識に徹することを定めた岡崎市議会基本条例第8条に抵触するものであり、岡崎市議会として決して看過できるものではない。

三浦議員は平成28年の選挙での当選で民意を得ていると主張しているが、そもそも市民に対して事実と異なる説明をしていたことは、市民を愚弄する重大かつ許しがたい裏切り行為である。さらに、元同僚女性議員との不適切な関係については本人も認めており、平成31年3月定例会において全会一致で辞職勧告決議を行い半年余りが経過したが、いまだに辞職していないどころか、市民や議会に謝罪の言葉もなく、反省の色も全く見られない。これは、過去の不適切な行為や発言に加え、議会の信頼と名誉をさらに失墜させるもので、議会に対する冒瀆と言わざるを得ない。

よって、岡崎市議会は、同議員に対してみずからその責任を重く受けとめ市議会議員を辞職するよう、断固たる決意をもって改めて勧告するものである。

以上、決議する。

令和元年9月30日

※9月定例会最終日に、上記決議を全会一致で可決しました。

採択請願

- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について
- ◎下記意見書を可決したため、みなす採択とし、関係機関に意見書を提出しました。

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

- 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
- 国の私学助成の拡充に関する意見書
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書

会派結成のお知らせ

8月5日に「創政会」が結成されましたので、会派数は五つとなっています。

議会の日程、傍聴、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問合せください。

議員提案により健康基本条例を制定しました

岡崎市議会では、誰もが健康づくりに取り組む意識を醸成するとともに、健康に配慮したまちづくりを推進することにより、市民一人一人が生涯にわたって生き生きと健康的に生活できる社会の実現を目指すことを目的に「岡崎市健康基本条例」を制定しました。

条例は議会ホームページで御覧いただけます。

議会ダイヤル ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チャレンジ岡崎・無所属の会	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
創 政 会	☎23-6405
無 所 属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377